



6/11 第43回通常総代会 新しい役員を選任

さあ、新たな第四期常総生協スタートです！



第43回総代会の結果

【第 43 回総代会】

(日 時) 2016年6月11日 9:30~12:30 (場 所) 常総生協本部組合員室
 (出 席) 有効総代出席数 99名 (本人出席45名、書面出席54名)
 (議 長) 東篤子、猪岡洋子、谷口真利 (※議長は採決に加わらず)
 (議事録署名人) 新田淳子、大内康恵

【議決結果】

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| 【第1号議案】 2015年度活動報告・決算報告承認の件 | 可決承認 (賛成95 反対0) |
| 【第2号議案】 損失金処分案承認の件 | 可決承認 (賛成96 反対0) |
| 【第3号議案】 2016年度活動方針、予算案承認の件 | 可決承認 (賛成95 反対0) |
| 【第4号議案】 役員報酬承認の件 | 可決承認 (賛成95 反対0) |
| 【第5号議案】 組合員のみなし脱退承認の件 | 可決承認 (賛成96 反対0) |
| 【第6号議案】 役員選任の件 | 拍手で承認 |
| 【第7号議案】 議案議決効力発生の件 | 拍手で承認 |

選任された第22期役員



		氏名	地区	コース名	班名
理事	重任	西村 静江	牛久市	J-3 a	さくら台P西村
理事	重任	戸井田 正子	常総市	A-4 a	きぬの里P戸井田
理事	重任	野口 由美子	守谷市	B-4a	ひがし野P野口
理事	重任	樋口 とも子	柏市	U-5a	柏418樋口
理事	新任	新堀 扶三子	つくば市	F-5 a	小野崎P新堀
理事	新任	稲葉 明子	利根町	F-2 a	もえぎ野P稲葉
理事	新任	柳町 弘美	牛久市	J-3 a	牛久-94
理事	新任	佐藤 登志子	我孫子市	T - 4a	天王台P佐藤
理事	新任	佐藤 理絵	つくばみらい市	B-2a	紫峰ヶ丘P佐藤
理事	新任	増本 綾子	つくば市	F-5 a	二の宮P増本
理事	重任	木内 和彦	(職員)	F-2 a	守谷250
理事	新任	伊藤 博久	(職員)	A - 1a	松前P伊藤
理事	新任	矢島 裕也	(職員)	A-4 a	守谷100
監事	重任	小島 いみ子	取手市	H-2 a	寺田-65
監事	重任	菅沼 和子	つくば市	I-2 a	P菅沼和子
監事	重任	石川 裕子	柏市	U-3 a	増尾P石川

○新役員体制

総代会議案審議終了後、直ちに第1回理事会が開催され、三役が互選されました。総代会にて発表されました。

理事長	柳町	弘美
副理事長	戸井田	正子
専務理事	伊藤	博久
常務理事	木内	和彦

退任役員 おつかれさまでした！

○退任理事

村井和美	大石光伸
柿崎洋	中村和子
太田由乃	内田幹代



退任理事に花束が贈られました。村井さん、大石さんには長く理事者としての貢献に組合員・生産者・職員から感謝状が贈られました。

村井さんは療養中にて快復を祈ります。大石さんには顧問（助言者）として新体制をバックアップしてもらいます。

新役員あいさつ（1）新理事長・新専務理事

理事長 柳町弘美

この5年を振り返ってみると、生産者さんをはじめ、私たち組合員、職員も放射能に振り回され、先輩たちが築き上げてきた様々な運動や活動が途切れてしまい、協同組合としての連携や一体感が失われつつあります。日々の忙しさに流されて、経済のグローバル化の名のもとに、社会の仕組みや私たちの生活スタイルが大きく変わる激動の時代にあっても、時代の空気に流されることなく、隣の人たちと手を携えてともに助け合い、一人ひとりが出来る時に出来ることをとの心がけで、自分達で考えて行動できる協同組合を目指していきましょう。

いつまでも下を向いてばかりはいられません。今が踏ん張りどころです。

今年度は原発事故以前のように、私たち組合員も生産者さんとの交流を通して、自分の家の台所から暮らしや社会を見つめ直し、何が本物なのか、大切なものなのかを見極められる本当の意味で賢い組合員になれるよう、生産者さんや職員と一緒に手を携えて一步一步進んでいきましょう。

最後に新しい役職員体制が始まったばかりでまだ助走期間です。組合員はじめ生産者さんのご協力なしでは前へは進んでいけません。以前にもましてのご協力をよろしくお願いいたします。



専務理事 伊藤博久

今期から専務理事を務めさせていただきます。伊藤と申します。

私は2008年12月に入協しました。その間、昨年2月まで供給部に8年間配属しており、その後商品部として岩瀬牧場に4か月出向。昨年6月に業務部長として生協に戻ってきました。

昨年は常総生協40周年というメモリアルな年であり、1年間は生協内部の動き、理事会の運営を通して常総生協の歴史、理念を学ぶことが出来ました。私自身のキャリア、経験はまだ浅く、未熟者ですが組合員・生産者を繋ぐ架け橋を先陣切ってやっつけようと思います。宜しくお願い致します。



福島原発事故から5年4ヶ月。原発安全神話は放射能安全神話に取って代わりました。福島に限らず関東各県にはいまだホットスポットが点在します。内部被曝の心配はこれからも続きます。

心配なのは放射能だけではありません。TPP参加による遺伝子組み換え作物やポストハーベットの緩和により食への不安は増大し、ますます健康被害が懸念されます。

不安におびえるだけでなく、何がどのように危険なのかを西尾先生のお話から具体的に学びませんか？

7月 15 日(金) 常総生活協同組合 本部

守谷市本町 280

7月 16 日(土) ワークプラザ勝田大会議室

ひたちなか市東石川 1279

* 講演時間は両日とも同じです。

開場 13時

第1部 13時20分～14時50分

～放射線の健康影響～

第2部 15時～16時30分

～TPP参加と医療問題～

質疑応答 16時30分～17時

※ 資料代 500円



<西尾正道氏プロフィール>

1974年 札幌医科大学卒業
北海道がんセンター 名誉院長
39年間がんの放射線治療に従事。がんの放射線治療を通じて日本のがん医療の問題点を指摘し、改善するための医療を推進。
「市民のためのがん治療の会」いわき放射能市民測定室「たらちね」「関東子ども健康調査支援基金」の顧問

放射線の専門家が語る

西尾正道氏・連続講演会

これからの健康被害

主催 西尾正道氏講演会実行委員会 ・ 関東子ども健康調査支援基金

問い合わせ 関東子ども健康調査支援基金 事務局 0297-38-8539 (常総生協内)
荻(基金共同代表) 080-5496-6261

<http://www.kantokodomo.info/>